

友の会とともに地域社会の文化発展へ貢献を

埼玉県立歴史と民俗の博物館長 村田章人

この4月1日付けで歴史と民俗の博物館長に就任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。私は埼玉県に学芸員として採用され、主に文化財保護行政、博物館運営を中心に、県庁や県立博物館施設等で勤務をしてまいりました。歴史と民俗の博物館には、今から約20年前、当館がまだ「県立博物館」という名称で活動していた時期に勤務をしていた経験がございます。着任後、館内を歩き、これまでの活動の記録に目を通してみると、懐かしさを感じると同時に、当館が歩んできた歴史の重みに改めて身が引き締まる思いでいるところです。

さて、昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全国の博物館施設が臨時休館や入場者数の制限、イベントや体験活動の縮小等の措置を取るなど、大変厳しい運営を余儀なくされています。当館も、昨年度は2度の臨時休館を経験し、職員が本当に心を尽くして準備した特別展が2つとも、一日も開催できなかったという事態に見舞われました。また、再開後も教育普及事業等を大幅に制限しています。感染拡大防止のためであり、やむを得ないものではありませんが、運営には大きな打撃となっています。また、友の会の皆様方による当館のご利用につきましても、多くのご不便やご面倒をおかけしており、本当に心苦しく思います。これもみな感染拡大防止のための措置であり、なにとぞご理解とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

このような状況の中でも、博物館に足を運んでくださるお客様や、当館が新型コロナウイルス感染症禍の中で取り組みを強化したオンラインでの情報発信を見てくださる方がおられます。そのような御姿や反響などをうかがうにつけ、博物館の歩みを止めることなく前に進めなければならないと、改めて強く思います。県民の皆様の生活が大きく制限されている、このような時にこそ、博物館は多くの方に必要とされているのだとの自負をもって仕事をしたいと考えております。

一昨年度に京都で開催された ICOM（国際博物館会議）京都大会 2019 の大会スローガンは、《文化をつなぐミュージアム ―伝統を未来へ―》でした。博物館の仕事は先人が残したものの、様々な経緯で私たちの手に受け継がれてきたものをしっかりと受けとめ、その価値を明らかにして広く公開し、未来へと引き継ぐことです。当館も、臨時休館中も施設の維持管理、資料保存や調査研究などの基礎的な業務を継続してまいりました。再開館後には、これらの業務をもとに、感染拡大防止に努めた上で展示や普及事業、体験事業を少しずつ再開しています。また、感染状況を見極めながら、学校や地域との連携にも力を入れていきたいと考えています。

これらの事業を通じて、友の会の皆様の知的好奇心や学習意欲にお応えしながら、友の会の目的の一つでもある、会員の皆様による「地域社会の文化発展への貢献」という活動に寄与できるよう、博物館活動の水準を少しでも上げていきたいと思っております。友の会の皆様におかれましては、今後とも、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

次回の友の会理事サポーター会議：未定です

友の会の今後の活動について—理事会より

年初からのコロナ感染症緊急事態宣言が解除され、3月23日より博物館が開館いたしました。しかしながら、変異ウィルスによる感染者の急増などコロナ禍は一向に収まる気配はありません。三密を避ける・不要不急の外出は止める・マスク着用厳守など、個人レベルでの判断による警戒、防止対策はまだまだ続くと思われまます。このような状況下での友の会の今後の活動について、去る4月6日に常任委員会を開催し下記の件につき検討し、理事会では書面による賛否を問い決定致しました。

- 1・友の会活動は年度代わりの時期に差し掛かっており、会則15条「総会規定」による議決事項の報告・年度計画の作成などが必要とされていますが、コロナ感染症下での特殊な年度であること、また会員の有効期限も2022年3月まで延長していることなどに鑑み、2020年・2021年を連結して1期とし、今4・5月の定型的な手続きの簡略化を図ることを常任委員会より提案し理事会では賛成多数にて採決されました。従いまして今5月の定期総会は開催致しません。
- 2・会報は不定期な発刊となります
- 3・友の会の本格的活動は会員の主体を占めるシニア層にワクチン接種が行きわたる時期（推定8月～9月）以降と致します。
- 4・講演会については昨年度開催を中止した講演・講師と交渉しているテーマから順次企画を進めます。
- 5・見学会は公共交通機関を利用した現地集合解散の企画を優先させます。
- 6・クラブ活動も上記3項に準じます

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 会長 岩井隆興
理 事 会

会員証のご利用についての確認

会報163号でもお知らせしましたが、お手持ちの2020年度会員証の有効期限は2021年3月末となっておりませんが、2022年3月末まで延長しております。お手持ちの会員証で無料観覧の特典を受けられますのでご活用ください。

令和3年度（2021年度） 埼玉県立歴史と民俗の博物館の新しい人事です

1 退職・転出 お世話になりました（職名・氏名・新所属先）

（退職）

館長 小澤健史 総合教育センター 総務教育資料担当 副所長
学芸員 後藤知美

（転出）

教育主幹 代島常造 文化資源課文学担当(さいたま文学館勤務)
学芸主幹 西口由子 自然の博物館 副館長兼主席学芸主幹
学芸主幹 新井浩文 文書館、史料編さん担当主席学芸主幹
担当課長 佐藤昌幸 川口市立戸塚中学校教頭
主任 川尻浩之 伊奈学園高等学校学事課主任
主事 庄子亮平 県立学校人事課
主任 内藤伸一 県土整備部建設管理課
主事 徳田真琳 福祉部社会福祉課
学芸員 中村陽平 嵐山史跡の博物館学芸担当
学芸員 戸邊優美 文化資源課

2 新規転入 よろしくお願ひします。（職名・氏名・前所属先）

館長 村田章人 さきたま史跡の博物館長(兼)嵐山史跡の博物館長
教育主幹 押江成行 教職員課
主席学芸主幹 加藤かな子 文書館 古文書、史料編さん担当 学芸主幹
学芸主幹 佐藤康二 県民生活部広聴広報課
担当課長 木村真輔 鴻巣市立鴻巣中央小学校主幹教諭
主任学芸員 佐藤美弥 文書館史料編さん担当学芸員
主任 堀越正規 西部教育事務所
主任 若林和弘 埼玉県農業大学校
主事 高橋優美 大宮東高等学校主事

（新規）

主事 藤本貴博 (臨時的任用職員)
学芸員 黒田千尋 学芸員 温水基輝
学芸員 佐藤夏美 学芸員 津久井彩乃